

3 - (3) - ① - ア 温水プールの建設について(民間スイミングスクールのケース)

建設地：東京都日野市内
主要用途：スイミングスクール
工事種別：新築(2016.8 オープン)
敷地面積：1437.97 m²
構造：鉄骨造
階数：1階
建築面積：783.25 m²
プール：25m×5 コース
建設費用：約3億円



プール 25M×10M
5コース・6コース変更可



ギャラリー



採暖室



体操場



シャワー室



男ロッカールーム



女ロッカールーム



フロント



駐車場 (15台)



第2駐車場 (20台)
駐車場案内

参 考

追加内容

- ・スイミングスクールと関係のある設計事務所、ゼネコンによる建設だったため格安で完成したとのこと。市が発注したら少なくとも1~2割の増額になるだろうとのこと。
- ・この物件は鉄骨造りの1階建て。必要最低限の施設として建設した。鉄筋コンクリートだと少なくとも4~5億はかかる。
- ・公共施設であれば障がい者対応設備や幼児、高齢者対応設備も設置する事になるため、更に費用を考慮する必要があるだろう。

温水プールの注意すべき点

- ・温水プールは常時約30℃に保っているため菌が繁殖しやすい環境。設備的に国内基準を満たしていれば問題はない。人的管理が重要。数年前に「わくわくドーム」でレジオネラ菌が発生して営業停止になった。
- ・富士見市に設置するとなると都市ガスを利用することになると思う。24時間ボイラーを使用する事になるので、年間1000万円以上のガス代はかかる。環境センターの余熱が利用できれば設備投資にお金はかかってもランニングコストで回収できる。

他自治体の状況

- ・埼玉中部環境センターで余熱利用のプールを吉見町に建設する予定であったが、鴻巣市、北本市、吉見町、各自治体の負担割合で意見が纏まらず、吉見町長の意向で取り止めになったとのこと。